

■ 国の方針 「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」(令和4年12月) スポーツ庁・文化庁

◆少子化が進む中、将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保するため、速やかに部活動改革に取り組む必要がある。そのため、令和5～7年度までの3年間を部活動の改革推進期間として県・市町村の取組を支援。部活動の地域連携・地域移行については達成時期を一律に定めず、地域の実情に応じて、可能な限り早期の実現を目指す。今後、進捗状況の検証を踏まえ、令和8年度からの施策に反映していく。

■ 今後の高知県の取組について

- ◆国の方針を踏まえ、県において部活動の地域連携・地域移行に係る検討会議を設けるとともに、地域移行や拠点校部活動についての実証事業などの具体的な取組を通じて、課題整理や対応策などの検討を進める。あわせて市町村における協議会の促進を図る。
- ◆令和8年度以降の国の部活動ガイドライン見直しに合わせ、県内の取組状況等も踏まえ、県としての方向性を示す。



■ 令和5年度の取組について

高知県における部活動地域連携・地域移行検討会議

- ◆子どもたちがスポーツ、文化芸術等に継続して親しむことができる持続可能な環境整備
- ◆公立中学校における部活動の地域連携・地域移行の課題、対応等についての検討

【検討会議委員】

高知県教育長、高知県文化生活スポーツ部長、保護者等の代表者、学識経験者市町村及び市町村教育委員会の職員、学校関係者、スポーツ団体の代表者 文化芸術団体等の代表者 等

【主な日程】

- 7月14日 第1回検討会議の開催
 - ・指導者の確保について
 - ・学校、地教委、団体の連携等
- 8月～1月 各種部会の開催
- 2月 第2回検討会議の開催

【3つの部会】

- ・地域移行検討部会 … 地域移行した場合の課題への対応 等
- ・地域連携検討部会 … 拠点校部活動の環境整備、部活動指導員の資質向上 等
- ・部活動ガイドライン改訂部会 … 部活動ガイドラインの改訂 等

【課題】

- 〈地域移行〉
指導者の確保、受け皿の整備、教育的意義の継承等
- 〈地域連携〉
拠点校部活動の運用、指導者の資質向上等



市町村の取組

- ◆国の事業を活用した取組
 - ・部活動地域連携等の協議会 (14市町村)
 - ・部活動地域移行実証事業 (4市町)
 - ・運動部活動指導員配置事業 (16市町村67名)
 - ・文化部活動指導員配置事業 (4市町村6名)
- ※国の事業を活用せずに協議会等を実施する市町村もある

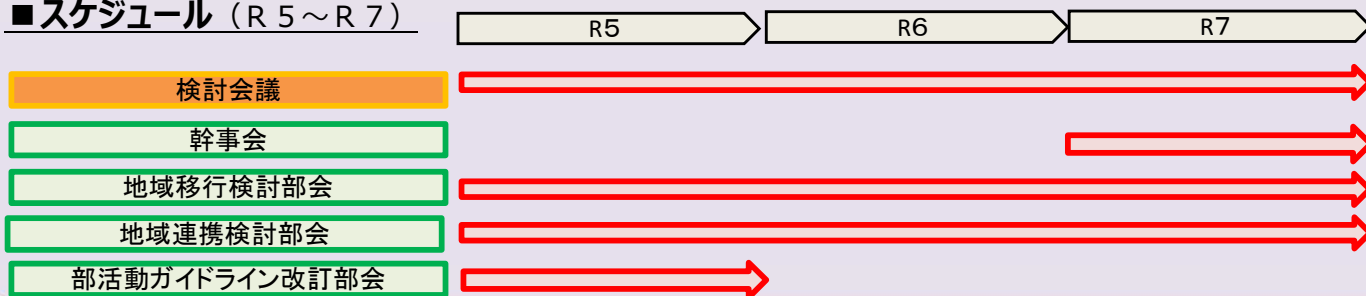


学校、保護者、市町村教委への周知

- ・5月 中学校体育主任会
- ・7月 地区別PTA研修会
- ・8～9月 地区別学校長会
- ・2月 市町村教育委員会連合会
- ※6月より各市町村を訪問



■ スケジュール (R5～R7)



R8～

国の支援等を活用し、部活動改革(地域連携・地域移行)を進める

